

つながり愛

令和6年度 第7号

安曇野市立豊科北中学校

3学期始業式 ～臼井校長先生のお話～

全校の皆さん、明けましておめでとうございます。こうしてみなさんと新しい年を迎えることができ感謝です。さて今、3人の代表生徒の皆さんに発表していただきましたが、3学期、また今年1年頑張りたいことや目標、願いをしっかりと持っていて素晴らしいなあと思います。新年を迎え、皆さん一人ひとりが「今年は〇〇を頑張りたい」という目標をもっているのではないのでしょうか。目標を掲げ、その目標に向かって努力することはとても大切なことです。ぜひ今の気持ちを持ち続けてください。

さて、2025年は巳年、へびの年です。みなさんは、へびに対してどのようなイメージを持っているでしょうか。へびというと、しばしば嫌われ者扱いをされがちですが、一方で、脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起がいい生き物と考えられてきました。私たちも過去の自分から脱皮し、大きく成長できる一年にしたいものですね。

今日から3学期が始まります。登校日数は47日です。3学期は年度の最後の学期となりますので、よく「まとめの学期」と言われますが、「次の年度のよいスタートを切るための準備の学期」とも考えることができます。私は本校に赴任してから、皆さんの授業に取り組む姿、生徒会や部活動での活躍の姿、学校行事などに積極的に参加する姿などを見て、「北中の生徒は本当に素晴らしいなあ」と多くの感動を味わうことができました。それは、自分の目標を達成しようと頑張る姿は大変美しく、人の心を打つからだと思います。この3学期を、4月からの生活をよりよくするための「0学期」ととらえ、意欲的にチャレンジしてほしいと思います。

皆さんは、日々新しい課題に出会うことでしょ。その課題とは、勉強のことや部活動のこと、進路や人間関係のこと様々だと思います。そして、その課題を乗り越えるために、様々な挑戦をすることになります。ところで、皆さんは何かに挑戦するときに、「それを確かに自分がやり遂げる」という『自信』をもっていますか。『自信』とは自分を信じるということでもあります。また、自分が信じられないことを『不信』と言います。逆に、自分を信じ過ぎることを『過信』と言います。ですから、『自信』は、この『不信』と『過信』の間に存在するのです。

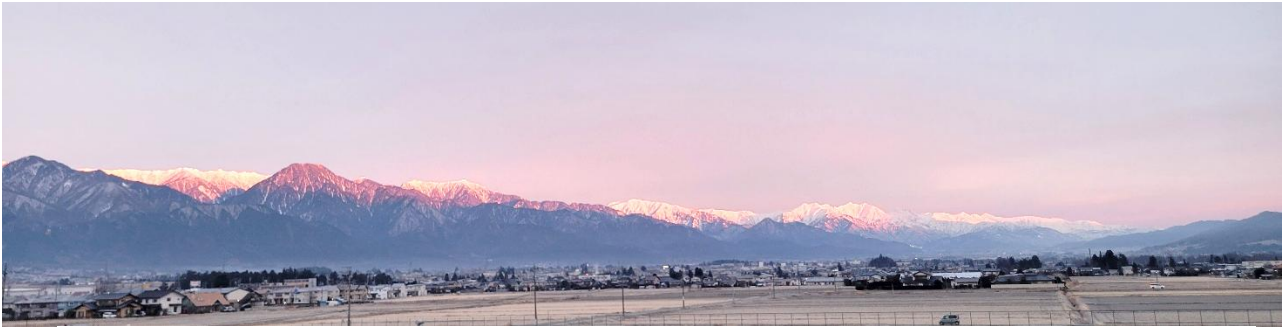
例えば、「自分は何をやってもダメだ」とか、「きっと失敗するに違いない」とかいう悲観的な考え方は『不信』という状態ですね。つまり、課題を乗り越える自分を想像できないのです。逆に、確たる理由もないのに「自分はきっと成功するから大丈夫」という楽観的な考え方は『過信』につながります。いわゆる根拠のない『自信』ですね。

それでは、どうしたら本当の『自信』がもてるようになるのでしょうか。課題に挑戦するときに、「『自信』がある」とは、課題に対して事前に時間と労力を費やし、「自分はこれだけ頑張ってきた」と思えることです。何の準備もしないままに、初めから失敗すると決めつけるのは『不信』、成功すると決めつけるのは『過信』です。失敗するかもしれない不安があるからこそ、成功するために地道に努力する。根拠のない自信と言うべき『過信』がないからこそ、じたばたするのです。自分が信じられるために必要なのは、その課題に当たって努力した時間の積み重ねだけです。自分が努力した事実には、嘘がありません。ですから、「これだけやったのだから大丈夫だ」と思えるまで、しっかりじたばたしましょう。

3年生は、自分の進路の実現に向けて全力を尽くしてください。受験は個人戦ではなく、団体戦です。学年全体で良い雰囲気をつくり、全員がそれぞれの夢を実現させましょう。2年生は、先輩から受け継いだ伝統をさらに発展させ、新しい北中を創っていく準備をしてください。1年生は、あと3か月で先輩になります。先輩として後輩から憧れられるような人になってください。

一人ひとりにとって、素晴らしい3学期となることを祈っています。





早朝、朝焼けに染まる山々 ～北校舎の階段より～

『学校・家庭生活アンケート』の結果について

年末には、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。高い回収率で結果をまとめることができました。アンケートの結果と学校の対応の概要についてお知らせします。

- 友達との関係で嫌な思いをしていると記入してくれた生徒がいましたが、多くがすでに学校で対応中のものでした。また、学校の対応について疑問を感じているという声もいただきました。真摯に受け止めつつ、引き続き学級・学年を中心に対応していき、誰もが楽しいと思える学校をめざしていきます。
- 教科指導や運動部活指導にかかわるご意見をいただきました。いただいた意見を参考にして、引き続き生徒が主役となる授業（主体的な学び）・部活動（選手ファースト）を目指していきます。
- 保護者の皆様からは、スマホ・SNSの利用に関わって心配する声、中学生だけの商業施設利用等についての悩みなどについて記入していただきました。今後も家庭と学校と連携しながら、トラブル等につながらないように考えていきたいと思えます。
- 生活リズムは多くの生徒が規則正しいことが分かりました。ただ、夜更かしや朝食が抜けてしまう生徒もいます。学校でも自分事として大切に考えられるよう個々に声がけをしていきます。

☆県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。下記まで、封書、電話、ファックス等で相談ができますので、ご活用ください。

宛先	長野県教育委員会義務教育課	「体罰に関わる相談窓口」宛
住所	〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2	
電話	026-235-7426(直通)	FAX 026-235-7494

- 長野県警より安心・安全アプリ「ライポリス」が2月3日（月）にリリースされます。「安心・安全マップ（身近な事件・事故情報）」「お知らせ機能」「ココ通知（位置情報）」「見守りパトロール支援」「防犯ブザー」等の機能が搭載されています。詳しくは配布したチラシをご覧ください。



左の QR コードは、豊科北中学校のホームページにつながります。学校生活の様子などを掲載しています。ぜひ、アクセスしてご覧ください。

(文責 教頭 小林 晴雄)